

大豆管理情報 第1号

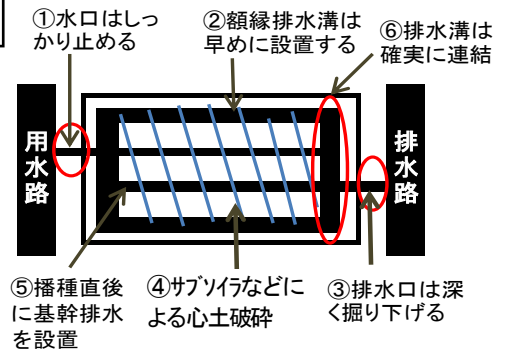
「土づくり」・「排水対策」・「適期適正播種」の実施で苗立ち確保!!

1. 排水対策

播種前にほ場内の排水対策を行いましょう。(右図参照)

2. 土づくり・基肥

pH6.0~6.5 を目標に石灰質資材を施用するとともに、堆肥等有機物施用による積極的な土づくりに努めましょう。



	資材名	10aあたり施用量
pH矯正	苦土石灰(粒)	100kg
有機物施用	発酵鶏糞	100~200kg
基肥	BB基肥084	単作:20kg、麦跡:30kg

3. 種子消毒

昨年、紫斑病が多く発生したことから、種子消毒は徹底しましょう。

薬剤名	処理法	対象病害	留意事項
クルーザーMAXX	乾燥種子1kg当たり原液8mlを塗抹	アブラムシ類、タネハエ、ネキリムシ類、フスジヒメハムシ、茎疫病、紫斑病、苗立枯病、リゾクニア根腐病	・塗抹時に外殻を添加する ・塗抹後、種子を十分乾かす

4. 播種作業

- 耕起、播種、作溝、除草剤散布の一連の作業は、ほ場が乾いた好天日を選び1日で行いましょう。
 - ・碎土率を高めるため、トラクターのスピード、ロータリーの回転数を調節しましょう。
 - ・欠株を防ぎ、苗立を確保するため3連播種機の場合で30aほ場で70分を目安に播種しましょう。
 - ・播種深さは3cmを目安として下さい。
- 播種量は播種時期により異なります。早すぎる播種を避け適正な栽植本数を確保して下さい。

品種	播種時期	栽植本数(本/10a)	播種量(kg/10a)	設定条件(条間80cmの場合)			播種粒数(粒/m)
				目皿	スプロケット		
					目皿側	車輪側	
エンレイ	5/26~6/10頃	14,000~16,000	5.3~6.1	B-2	11	13	12~14
				B-22	14	10	
	6/11~6/20頃	16,000~18,000	6.1~6.8	B-2	10	14	14~17
				B-22	13	10	
シュウレイ	5/26~6/10頃	12,000~15,000	4.7~5.9	B-3	11	13	11~13
	6/11~6/20頃	15,000~18,000	5.9~7.0	B-3	9	14	13~17

※大豆の百粒重をエンレイ 34.2g、シュウレイ 35.1gとして計算。苗立率90%の場合

※栽植本数が少なすぎると青立ちしやすくなり、逆に多いと倒伏につながります。

5. 播種後の除草剤

・除草剤は、播種後土壌が湿っている間に散布しましょう。

薬剤名	散布時期	10aあたり施用量	農薬の総使用回数	効果ある草
プロールプラス乳剤	播種後出芽前(雑草発生前)	400~600ml/水75~150ℓ	1回	一年生雑草
トレファノサイド粒剤2.5	播種後出芽前	4~6kg/10a	1回	一年生雑草

注) トレファノサイドは、ツユクサ、カヤツリグサ、キク科・アブラナ科の雑草には効果がありません。

注) 難防除雑草は、ほ場周辺で早期に除去しましょう。